

1. 本年度の主題

社会で生き抜く力を育てる

－ 主体的・協働的な「生徒中心の学び」を通して －

2. 主題設定の理由

「ナゴヤ学びのコンパス」より、名古屋の子どもたちが、今後ますます激しくなる社会の変化を前向きに受け止め、たくましくしなやかに変化を乗り越え、よりよく自らの人生をきり拓いていくためには、自律して学び続ける人に成長していくことが欠かせません。そのためには、大人が子どもの学びに伴走し、子ども中心の学びを進めていくことが大切です。そこで、本校では、授業や学校生活全般において、「生徒を中心とした学び」を意識しながら、次の二つのことを重点的に取り組んでいきます。

- ① 仲間との協働 仲間との協働により、対話が生まれ、自分の考えを深めたり、広げたりすることができます。また、学校での様々な場面において協働する機会を増やすことで、社会性やコミュニケーション能力も向上し、社会に適応しやすくなります。
- ② 主体的な活動 主体性を育むためには、子どもたちが主体的に取り組むためのきっかけや仕掛けが必要です。教科の授業であれば、子どもたちが自らの興味関心をもとに取り組むことができるような課題設定を行っていくようにしていきます。

これらの活動を進めるための手段として、タブレット PC を有効活用していきます。仲間との協働的な学びと、主体性を育む個別最適な学びを一体的に充実させていくことを、「生徒を中心とした学び」の中で取り組んでいくことで、「社会で生き抜く力」を育てていきます。

3. 育てたい生徒の姿

仲間との協働の中で主体性を磨くことができる生徒
主体性…自ら考え、判断し、行動できる

4. 本実践の内容

- (1) 仲間との協働や対話によって、より学びを深めることができる授業づくり
 - (2) 生徒が興味・関心に応じて主体的に学びを進めることができる授業づくり
- 「生徒中心の学び」に関する研修を通して、それを授業に生かしていけるようにする。
- (3) 仲間との協働や主体的に取り組むことができる行事・学年・学級づくり

重点課題